令和5年度　学校評価報告書

甲府市立南西中学校

1．評価方法について

・ 評価項目

　本校では、自らの教育活動（学校運営、学習面、生活面、教科外指導、保護者・地域・小中の連携・感染症対策）について、組織的継続的に改善を図っていくため、２１の評価項目についてアンケートを行い、評価しています。

　学校教育目標の「たくましい心と体をもち、豊かに学び合う生徒の育成」については、具体的な評価項目で重点化し、目標達成に向けて継続的な取り組みを行っています。令和5年度より、より信頼度の高い評価となることを狙いとして、同じ項目について教職員、生徒、保護者の３者がそれぞれ評価するよう評価項目を全面的に見直しました。また、ICT機器の利活用についての評価項目を追加しています。

・ 調査対象

「全教職員」による自己評価及び「全校生徒」「全校保護者」を対象としたアンケートを実施していいます。

・回答方法

グーグルフォームを用いて調査を行っています。
①＝「そう思う」　②＝「どちらかというとそう思う」　③＝「あまりそう思わない」
④＝「全くそう思わない」　⑤＝「判断できない」

2．アンケート集計結果

①～⑤　数値はすべて％（パーセント）
①そう思う（４点）　②どちらかというとそう思う（３点）　③あまり思わない（２点）　④全く思わない（１点）として、評価項目の平均スコアを算出しています。

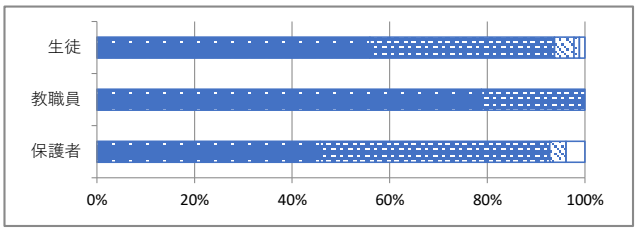
Ⅰ　学校経営等に関わる内容について

1	生徒	あなたは、学校・学年・学級目標を大事に生活している。
	教職員	学校教育目標は、地域・学校・生徒の実態から考えて適切なものである。
	保護者	学校教育目標は、地域・学校・生徒の実態から考えて適切なものである。

R5年度

結果		①	②	③	④	⑤	スコア
	生徒	56	38	4	1	1	3.50
	教職員	79	21	0	0	0	3.79
	保護者	46	47	3	0	4	3.31

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

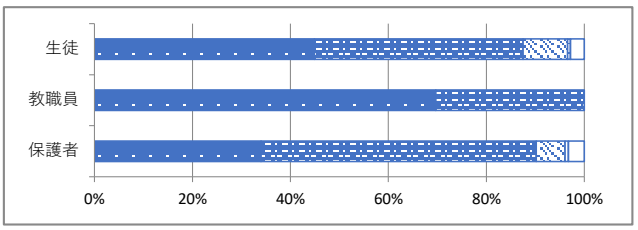


2	生徒	あなたは、南西中学校全体の様子に満足している。
	教職員	学校の教育活動・学校運営は適切な取り組みが行われている。
	保護者	学校教育活動・学校運営は全体的に満足できる状態である。

R5年度

結果		①	②	③	④	⑤	スコア
	生徒	45	43	9	1	3	3.36
	教職員	70	30	0	0	0	3.70
	保護者	34	56	6	1	3	3.28

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

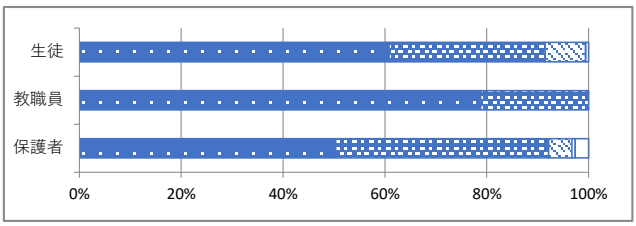


3	生徒	あなたは、安心して学校生活を送ることができている。
	教職員	学校は、生徒が安心して生活できるように安全管理に配慮している。
	保護者	学校は、お子さんが安心して生活できるように安全管理に配慮している。

R5年度

結果		①	②	③	④	⑤	スコア
	生徒	61	31	8	0	1	3.53
	教職員	79	21	0	0	0	3.79
	保護者	50	42	5	1	3	3.46

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可



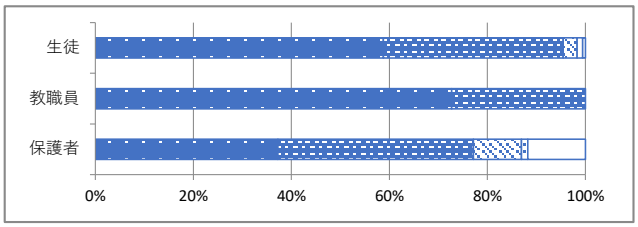
Ⅱ　教科指導等，学習面に関わる内容について

4	生徒	先生は、授業をわかりやすくていねいに教えてくれる。
	教職員	知識・技能の定着を図るため指導内容の精選や授業の工夫改善に努めている。
	保護者	先生は指導内容を工夫し、ていねいな授業をしている。

R5年度

結果		①	②	③	④	⑤	スコア
	生徒	59	37	3	1	1	3.54
	教職員	73	27	0	0	0	3.73
	保護者	37	40	10	1	12	3.28

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

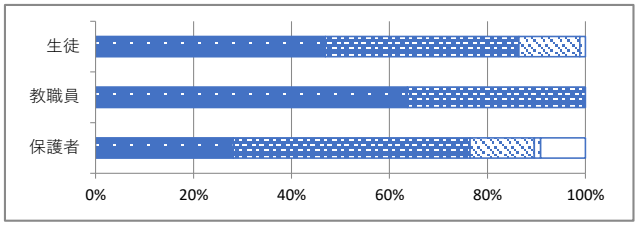


5	生徒	あなたは授業中、じっくり考えたり、話し合ったり、考えを発表したりしている。
	教職員	生徒の思考力・判断力・表現力の育成を心がけている。
	保護者	授業等によってお子さんの思考力・判断力・表現力が育成されている。

R5年度

結果		①	②	③	④	⑤	スコア
	生徒	47	40	12	1	0	3.32
	教職員	64	36	0	0	0	3.64
	保護者	28	48	13	1	9	3.14

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

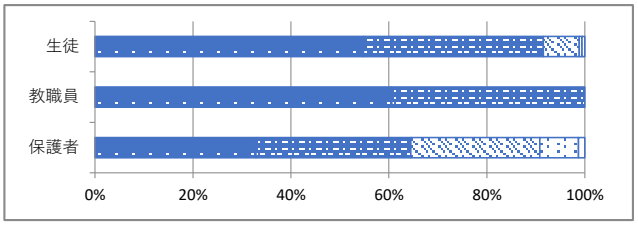


6	生徒	あなたは、自ら進んで授業に参加しようとしている。
	教職員	生徒が主体的に学習に取り組むように工夫して指導している。
	保護者	お子さんは主体的に学習しようとしている。

R5年度

結果		①	②	③	④	⑤	スコア
	生徒	55	37	7	1	1	3.47
	教職員	61	39	0	0	0	3.61
	保護者	33	32	26	8	1	2.91

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

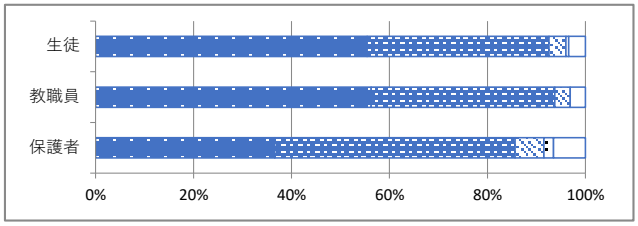


7	生徒	先生は、学んだことが身についているかを適切に評価してくれる。
	教職員	学習における努力や学習の結果を適切に評価している。
	保護者	先生は学習における努力や学習の結果を適切に評価してくれている。

R5年度

		①	②	③	④	⑤	スコア
結果	生徒	55	37	3	1	3	3.53
	教職員	56	38	3	0	3	3.55
	保護者	37	49	6	2	7	3.29

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

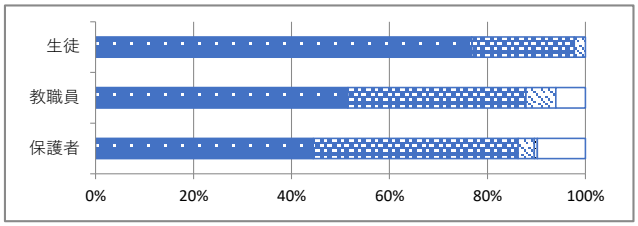


8	生徒	授業でクロームブックなどのICT機器が活用されている。
	教職員	ICTを活用し、つかみ・つむぎ・つなぐ授業づくりに努めている。
	保護者	授業でクロームブックなどのICT機器が活用されている。

R5年度

		①	②	③	④	⑤	スコア
結果	生徒	77	21	2	0	0	3.75
	教職員	52	36	6	0	6	3.48
	保護者	44	42	3	1	10	3.44

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可



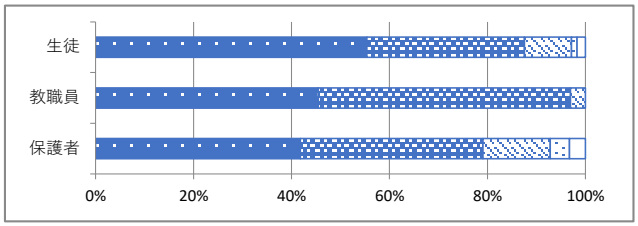
Ⅲ　生活面に関わる内容について

9	生徒	あなたは、学校生活を楽しく送っている。
	教職員	生徒がのびのびと学び、充実した学校生活を送れるように支援している。
	保護者	お子さんは学校生活が楽しいと言っている。

R5年度

		①	②	③	④	⑤	スコア
結果	生徒	55	32	10	1	2	3.44
	教職員	45	52	3	0	0	3.42
	保護者	42	37	14	4	3	3.21

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

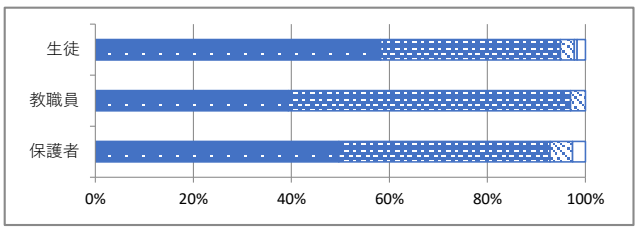


10	生徒	あなたは、集団生活の決まりやマナー（時間・服装・言葉遣い等）を守っている。
	教職員	生徒が集団生活に必要な決まりやマナーを守るよう指導している。
	保護者	お子さんは集団生活に必要な決まりやマナーを守っている。

R5年度

		①	②	③	④	⑤	スコア
結果	生徒	58	37	3	1	2	3.55
	教職員	39	58	3	0	0	3.36
	保護者	50	43	5	0	3	3.46

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

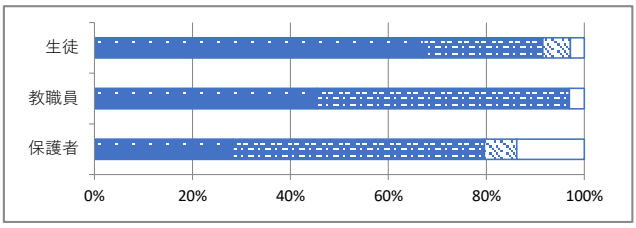


11	生徒	学校で、命の大切さ、人としての生き方などを学んでいる。
	教職員	命の大切さ、人間としての生き方等の心の教育や進路指導などを適切に行っている。
	保護者	学校では、命の大切さ、人間としての生き方、進路指導などが適切に行われている。

R5年度

		①	②	③	④	⑤	スコア
結果	生徒	67	24	6	0	3	3.63
	教職員	45	52	0	0	3	3.47
	保護者	28	51	7	0	14	3.25

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

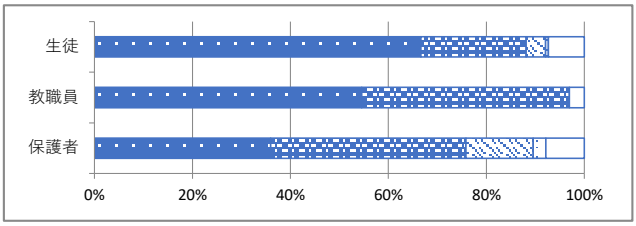


12	生徒	先生は、あなたの悩みや困っていることに耳を傾け対応してくれる。
	教職員	生徒とのコミュニケーションを密にし、きめ細やかな生徒指導に努めている。
	保護者	先生はお子さんの不安や悩みに、親身になって相談にのっている。

R5年度

		①	②	③	④	⑤	スコア
結果	生徒	67	21	4	1	7	3.66
	教職員	55	42	0	0	3	3.56
	保護者	36	40	14	3	8	3.18

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

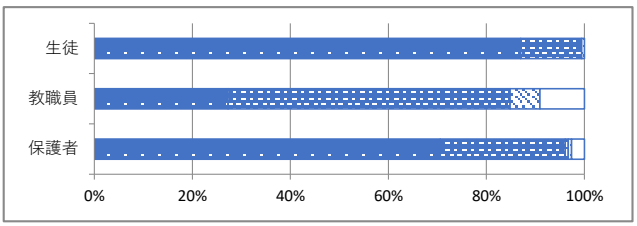


13	生徒	あなたは、交通ルールを守って登下校している。
	教職員	交通ルールを守り、安全に登下校できるよう指導している。
	保護者	お子さんは交通ルールを守り、安全に登下校している。

R5年度

		①	②	③	④	⑤	スコア
結果	生徒	87	12	1	0	0	3.86
	教職員	27	58	6	0	9	3.23
	保護者	71	25	1	1	3	3.70

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可



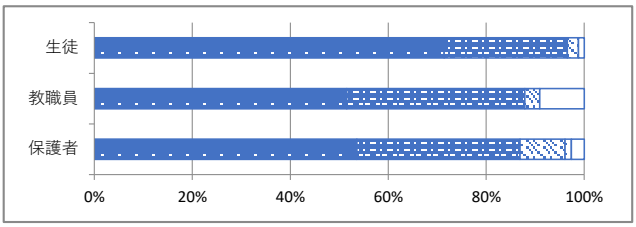
Ⅳ　教科外の教育活動について

14	生徒	あなたは、友達と仲良く助け合って生活している。
	教職員	生徒が友達と仲良く助け合って生活できる学校・学年・学級づくりに努めている。
	保護者	お子さんは友達と仲良く助け合って生活している。

R5年度

		①	②	③	④	⑤	スコア
結果	生徒	71	25	2	0	1	3.70
	教職員	52	36	3	0	9	3.53
	保護者	54	33	9	1	3	3.43

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

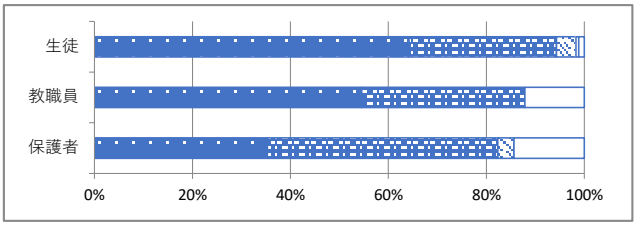


15	生徒	あなたは、学級の係活動や生徒会活動に意欲的に取り組んでいる。
	教職員	生徒会活動等が活発に機能するように努めている。
	保護者	生徒会活動等は活発に機能している。

R5年度

結果		①	②	③	④	⑤	スコア
	生徒	64	30	4	1	1	3.60
	教職員	55	33	0	0	12	3.62
	保護者	35	47	3	0	14	3.37

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

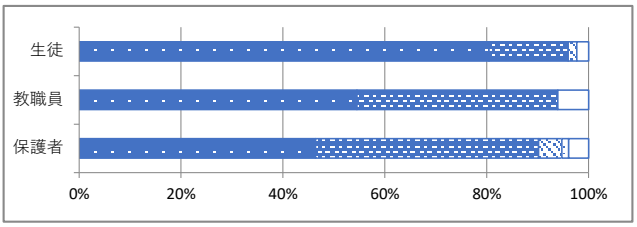


16	生徒	学校行事（修学旅行・林間学校・いちょう祭等）は楽しく充実している。
	教職員	学校行事（校外行事・いちょう祭等）が充実するよう努めている。
	保護者	学校行事（校外行事・いちょう祭等）は、充実している。

R5年度

結果		①	②	③	④	⑤	スコア
	生徒	80	16	2	0	2	3.81
	教職員	55	39	0	0	6	3.58
	保護者	46	44	5	1	4	3.41

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

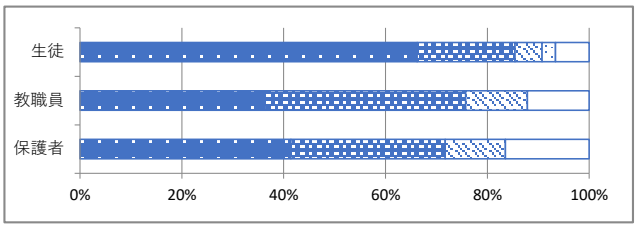


17	生徒	あなたが所属する部活動は楽しく充実している。（部活をしている人のみ）
	教職員	充実した部活動になるように努めている。
	保護者	部活動は、お子さんにとって充実している。

R5年度

結果		①	②	③	④	⑤	スコア
	生徒	66	19	5	3	7	3.60
	教職員	36	39	12	0	12	3.28
	保護者	41	30	12	0	16	3.35

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可



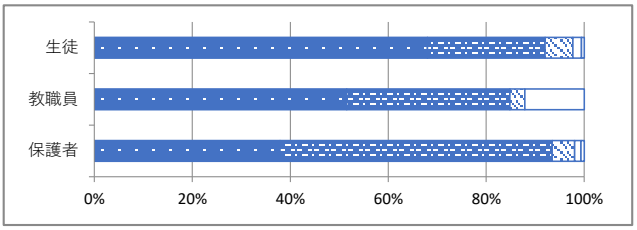
Ⅴ　家庭・地域・小中学校の連携について

18	生徒	あなたは、学校・学年・学級通信や学校からの連絡等を家の人に見せている。
	教職員	学校・学年・学級通信や安心安全メール、ホームページ等で学校の様子をわかりやすく伝えている。
	保護者	学校・学年・学級通信や安心安全メール、ホームページ等で学校の様子を知ることができる。

R5年度

結果		①	②	③	④	⑤	スコア
	生徒	68	24	6	2	1	3.59
	教職員	52	33	3	0	12	3.55
	保護者	38	56	5	1	1	3.31

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

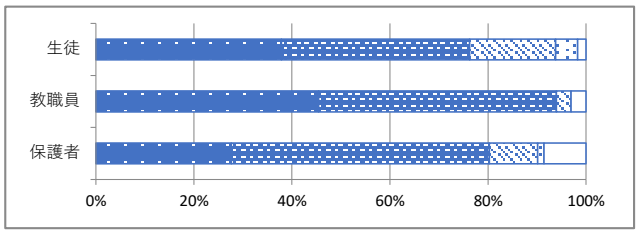


19	生徒	親や地域の人たちの願いや思いを受け止め、地域の活動に参加するよう努めている。
	教職員	学校は親や地域の人たちの願いや思いを受け止め、地域と共にある学校づくりに努めている。
	保護者	学校は親や地域の人たちの願いや思いを受け止め、地域と共にある学校づくりに努めている。

R5年度

結果		①	②	③	④	⑤	スコア
	生徒	38	38	18	5	2	3.11
	教職員	45	48	3	0	3	3.44
	保護者	28	53	10	1	9	3.17

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

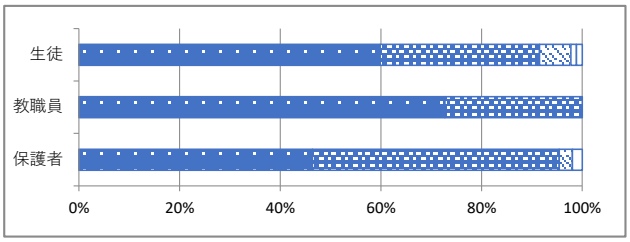


20	生徒	授業参観、学園祭、合唱発表会などで、家族に自分の学校生活を見てもらう機会が十分にある。
	教職員	授業参観、学園祭、合唱発表会など、子どもの様子を伝える機会が適切に設けられている。
	保護者	授業参観、学園祭、合唱発表会など、お子さんの学校での様子を知る機会が適切に設けられている。

R5年度

結果		①	②	③	④	⑤	スコア
	生徒	60	32	6	1	1	3.52
	教職員	73	27	0	0	0	3.73
	保護者	46	49	3	0	2	3.45

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可

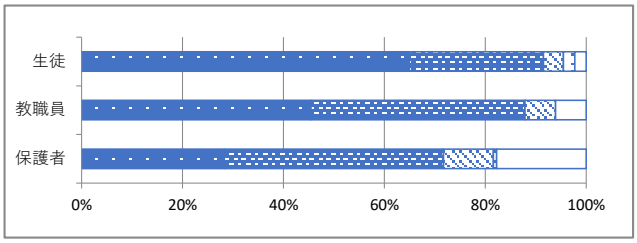


21	生徒	中学校での生活は、小学校からの積み重ねが大切だと思う。
	教職員	機会を見つけ、小学校との接続や連携を考えている。
	保護者	南西中学区は、小学校との連携がとれていると感じる。

R5年度

結果		①	②	③	④	⑤	スコア
	生徒	65	27	4	2	2	3.58
	教職員	45	42	6	0	6	3.42
	保護者	28	43	10	1	18	3.21

そう思う　まあ思う　あまり　全く　判断不可



３．考察と今後の改善方策

Ⅰ．学校経営等に関わる内容について

南西中学校では，以下のような目標を掲げ，教育活動を行っています。
教育指標　「日日に新たに」
学校教育目標「たくましい心と体をもち，豊かに学び合う生徒の育成」
～さわやかな明るい挨拶とマナー 全ての生徒に居場所のある学校づくりを通して～

調査結果を見ると，3つの項目とも「①そう思う」「②どちらかというとそう思う」と回答している割合が比較的高く，職員・保護者・生徒ともに，学校経営全般については，大きな課題はないと感じていることがわかります。本校の学校教育目標は「たくましい心と体」について第一に掲げられています。授業や学校行事，生徒会活動等のすべての学校での活動で，たくましい心と体を育むことができるよう，教育課程を常に見直し，子どもたちや社会の変化に柔軟に対応しながら保護者・地域の皆様と協働しながら教育活動を推進していくことが大切だと考えています。

一方で全国の中学校における令和４年度の不登校生徒数は過去最多で，学校教育における喫緊の課題となっており，本校も例外ではありません。その対策の一環として本校は「甲府の子どもの教育総合推進校」に指定されており，校内教育支援センター「ほっとルーム」が設置されています。専門のスタッフが常駐し，それぞれの生徒の状況に合わせた別室でのきめ細かい指導が行われており，子どもの社会的自立に向けて効果的な活用が進められているところです。令和５年12月に子ども家庭庁より「子どもの居場所づくりに関する指針」示され、多様な子どもの居場所づくりの推進が求められています。ほっとルームは多様な学びの場・居場所として有効に機能しています。

また、本校には「南西中学校サポートルーム」が置かれ，令和４年4 月により甲府市の中学生を対象とした通級指導教室の拠点となっています。５名の専門スタッフにより，特別な支援を必要とする生徒を対象に，学校生活などへの適応力を高める目的で，一人ひとりの教育的ニーズに応じた個別指導を行い，学習や生活，コミュニケーション等に困難さを抱える生徒たちを支援しています。本校は拠点校であり、担任と専門スタッフの情報共有が行いやすかったり、子どもの普段の状況を把握しやすかったりといった強みがあります。また，不登校の早期発見・未然防止策として，１１月より「気持ちメーター」を導入しております。これは一人一台端末を活用し，心や体の状態や担任への相談ごとなどを毎朝記入するもので，生徒とのコミュニケーションツールとして有効に活用し，効果的な指導に生かしています。

項目３の「学校の安全管理」については，近年の自然災害の増加や，新型感染症の蔓延等に対応するために，今後一層力を入れていくべき内容だと考えます。本校は浸水想定区域に位置しており，ハザードマップによると河川の氾濫によって3mの浸水が想定されています。今年度は従来から行われている避難訓練に加えて，生徒への予告なしの避難訓練を実施し，避難訓練の実効性を高める取り組みを行いました。今後，停電を想定した訓練や，昼休み等生徒が教室にいない時間帯での訓練を行うなどの工夫を行い，緊急時の避難体制に万全を期していきたいと考えます。また，能登半島地震で大きな被害が発生しており，地震についての備えにも万全を期す必要があります。甲府市では震度5弱以上の地震発生時には，生徒を学校へ留め置き保護者に引き取りをお願いすることになっています。そのために引き取り訓練を行っていますが，実際の災害時には安心安全メール等が使えず保護者に緊急連絡を発信することができない可能性があることから，保護者引き取りについて，平時より周知徹底を図っていきたいと考えます。

Ⅱ．教科指導等，学習面に関わる内容について

本校は，全体として子どもたちが落ち着いて授業に参加し，教師の話を聞く，ノートをきちんととるなどの授業規律が確立されています。その中で課題だと考えられるのが　項目５「思考力・表現力・判断力の育成」についてです。教師の「育成の心がけ」のスコアが高いにも関わらず，生徒，保護者のスコアが伸び悩んでいます。今後，じっくりと考え，適切に判断し，考えを伝えていく力を高める教育活動を一層重視していく必要があります。また，項目６「主体的に学習に取り組む」についても保護者のスコアが低く，2.91となっており，保護者は子どもに対して，さらに自ら進んで学習に取り組むことを期待しているという結果になっています。

令和3年度から実施されている学習指導要領では，生徒が身につけるべき資質・能力の要素を3つの柱で整理しています。

①知識及び技能→何を理解しているか，何ができるか

②思考力，判断力，表現力等→理解していること・できることをどう使うか

③学びに向かう力，人間性等→どのように社会・世界と関わり，よりよい人生を送るか

これに伴って，通信表の観点別評価も「知識・技能」「思考力・表現力・判断力」「主体的に学習に取り組む態度」と３つに整理されています。予測困難な社会を生き抜く力を育成するためには，上記の3つの資質・能力をまんべんなく育成する必要があります。本校では校内研究の研究主題に「自ら考え，表現し，主体的に学び合う生徒の育成」，副題に～ICTを活用した様々な場面での「つかみ・つむぎ・つなぐ」授業づくり～を掲げ，生徒の学力向上に取り組んでいます。また，本校は文部科学省より「リーディングDXスクール事業」の指定を受けております。この事業は，ＧＩＧＡ端末を活用する全国の学校が実践できる事例を創出するために，小中高等学校約２００校を指定し，ＧＩＧＡ端末の標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェアとクラウド環境を十全に活用した効果的な教育実践を創出・モデル化し，地域や校種を超えて全国展開することで，全国すべての学校でＩＣＴの「普段使い」による教育活動を更に推進するものです。具体的には「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ，主体的・対話的で深い学びを実現する観点から，令和の時代の文房具としての１人１台端末とクラウド環境を毎日，高い頻度で活用し，日常授業の改善を図っています。また，教育課程全体を通じた情報活用能力の育成に特に留意し，インターネット上の動画教材の活用，端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実を進めています。項目8「ICTの活用」について，生徒，教師共にスコアが高くなっていることから，この取り組みが定着しているものと考えています。

Ⅲ．生活面に関わる内容について

項目10「集団生活に必要な決まりやマナー」について，全体的に大変高いスコアになっています。実際の生徒の生活の様子を見ても，服装・挨拶・時間などの基本的な生活習慣が大変高いレベルで確立されており，規則正しい学校生活を送ることができています。学校での指導だけでなく，保護者・地域と共通理解のもと，長い年月を経て確立された南西中学校の宝の一つだと考えられます。集団として規律が確保され，落ち着いた学校生活を送ることは，授業の質の向上やいじめなどの未然防止にもつながるといわれています。

一方，項目9「学校生活が楽しいか」については，「③あまり思わない」「④全く思わない」と答えた生徒が11％，保護者では18％に上り，保護者の期待値に届いていない項目の一つです。楽しい学校生活を送り，明日もまた行きたくなる学校づくりに向けて，わかる授業を行うこと，人と人とが触れ合う活動や体験的な活動を確保することなどを実践し，楽しく安心して通える学校づくりを推進したいと考えます。

また，項目12「先生は悩みや困っていることに耳を傾け対応してくれる」については，「③あまり思わない」「④全く思わない」と回答した生徒が5％なのに対して，保護者は17％と回答しています。Ⅰ.学校経営等に関わる内容でも触れた「気持ちメーター」活用も含め，きめ細かな相談体制をさらに進めるとともに，保護者への周知を行っていく必要があります。また，学級担任，学年職員，学年外職員，スクールカウンセラーなど，子どもと関わる関係者全員でチームとして子どもたちに寄り添い，社会の中で自分らしく生きることができる存在へと，自発的・自主的に成長や発達する過程を支えていきたいと考えています。また，教師の働き方改革を一層進め，子どもと触れ合う時間の確保に努めていきたいと考えます。

令和４年１２月，生徒指導提要が改正されました。その中で，生徒指導の目標は「自己指導能力の育成」となっています。具体的には，「児童生徒が，深い自己理解に基づき，『何をしたいのか』『何をするべきか』，主体的に問題や課題を発見し，自己の目標を選択，設定してこの目標の達成のため，自発的，自律的，かつ他者の主体性を尊重しながら，自らの行動を決断し，実行する力，すなわち『自己指導能力』を獲得することが目指されます。」とあります。このような資質・能力の育成が求められており，その取り組みの一環として，今年度，校則の見直しを実施しました。校則の内容について生徒が話し合う機会を設けながら，生徒の実情，保護者の考え方，地域の状況，社会の常識，時代の進展などを踏まえての内容見直しとなっています。

Ⅳ．教科外の教育活動について

項目14「友達と仲良く助け合って生活している」，項目15「生徒会活動や委員会活動」，項目16「学校行事は楽しい」の3項目について，特に生徒のスコアが高く，90％以上の生徒が「①そう思う」と回答しています。体験活動が活発で，友達との関わりを大切にしていることは，南西中学校が誇れるスコアの一つだと考えます。本校の学校教育目標「たくましい心と体をもち，豊かに学び合う生徒の育成」を具現化するために，生徒会活動や学校行事の充実が大きくかかわっています。特に生徒会活動は，感染症対策が一段落した中での活動となりましたが，生徒の自治活動として，委員会活動などの日常活動や，学園祭に代表される行事をICT等を活用して工夫して行いました。学校生活に潤いと感動をもたらし，集団への所属感や，自己有用感を高める活動としてこれからも充実させていきたいと考えます。

一方，項目17「部活動が楽しく充実しているか」については，生徒の8％、，教職員・保護者の12％が「③あまり思わない」と回答しています。部活動は，学級や学年の枠を超えて同好の児童生徒が自主的・自発的に集い，顧問の指導のもとで個人や集団としての目的や目標を持ち，切磋琢磨することを通じて，人間関係の大切さ，組織を機能させることの重要性を学ぶことができる教育活動であると考えます。また、学校教育目標の「たくましい心と体・・」の育成にも大きくかかわる活動です。今後，休日の部活動の段階的な地域移行も視野に，部活動のあり方について検討を進めていきます。

Ⅴ．家庭・地域・小中学校の連携について

昨年度まで，感染症対策のため学園祭，合唱発表会，部活動大会，PTA総会などの保護者への公開を制限せざるを得ない状況でしたが，今年度は，授業参観（オープンスクール）・学園祭・合唱発表会等について，保護者公開を実現することができました。保護者に子どもたちの学校での活動の様子を実際にご覧いただき，肌で感じていただく機会は学校の教育活動をご理解いただくまたとない機会です。今後も感染症対策を行いながら，可能な限り学校教育活動を公開して行きたいと考えております。

小中連携については感染症の影響で十分な実施ができませんでした。１２月には中学生が小学校を訪ねて行う「読み聞かせ」を計画していましたが，感染症蔓延のため中止となりました。そのような中ですが，7月に小学校6年生児童を対象とした「南西中オープンスクール」について実施することができました。小中のスムーズな接続と，9年間を見通した教育課程の実施に向けて，今後も連携を推進していきたいと考えています。

本校では，令和5年度からコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）が導入されました。コミュニティ・スクールとは，学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。学校運営に地域の教育力を積極的に生かし，地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。今年度は，「小中連携挨拶運動」「職場体験事業所の斡旋」「学校運営協議会委員への学園祭等への招待」「学校関係者評価の実施」などの活動を行いました。また，中学生の地域活動への参加として，１１月１２日に実施された甲府市の総合防災訓練への生徒参加を促しておりましたが，感染症蔓延のため実際には少人数の生徒しか参加することができませんでした。項目19「地域と共にある学校づくり」のスコアもやや低めとなっておりますので，今後，地域と学校がお互いに「当事者」となり，共通の目標のもと，より良い学校づくりや地域活性化に向けての活動を行っていきたいと考えます。

４．学校関係者評価

・項目12「先生は悩みや困っていることに耳を傾け対応してくれる」の生徒のスコアが高い。中学生は難しい時期で、教師に悩みなどを相談しにくいと感じる年ごろだが、南西中の先生方のきめ細かい対応により、生徒との適切な信頼関係が構築されていることが分かる。
・アンケート集計結果の項目6「主体的な学習」の保護者のスコアが低い。同様に項目9「楽しい学校生活」の保護者・生徒と項目17「部活動の充実」の教師・生徒のスコアも伸び悩んでいる。これらの項目のスコアが低くなっている理由を分析し、次年度の教育活動に生かしていくとよい。部活動については、休日の部活動地域移行を視野に、充実した部活動のあり方を検討していくとよい。
・ほとんどの質問項目で、「そう思う」「どちらかというとそう思う」という回答が80％を超えている。全体として充実した教育活動が行われているのではないかと感じる。
・アンケート集計全体を見て、生徒と保護者の温度差を感じた。家庭内のコミュニケーションが不足しているのではないか。

・アンケートがグーグルフォームを用いた選択形式で行われており、集計事務の効率化につながっている。記述欄を増やすことで、なぜ満足しているのか、どのような点が課題なのかが見えてくると思うので、今後検討してほしい。
・子どもの「主体性」をどう捉え、どのように育成していくかについて、考えたい。
・保護者が考える「主体性」は、親が黙っていても宿題などの家庭学習をする、家の手伝いをするなどのいわゆる「よい子」をイメージしているのではないか。
・地域で中学生を見ていて、進んであいさつができる子が多く、そのような点で主体性が適切に育成されていると感じる。
・子どもが自ら課題を設定し、主体的に学習に取り組む授業づくりに努め、「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を進める。
・南西中学校は「ほっとルーム」「通級指導教室の拠点校」など、不登校生徒への対応に力を入れていてよい。保護者への周知を一層進め、今後も多様な生徒に柔軟に対応した学校教育を推進してほしい。